

令和 6 年度第 1 回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 1 8 日（土） 午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 3 時 3 0 分	
開催場所	加茂文化センター 第 1 ・第 2 研修室	
担当議員	班代表者	森本 隆
	司会者	大角 久典
	報告者	宮嶋 良造
	記録者	草水 基成
	班員 (上記以外)	長岡 一夫、谷川 光男、玉川実二
参加人数	1 6 人	
主な質疑・意見等	<p>Q議：長期欠席の議員報酬削減の欠席期間の 9 0 日とは、議会を開催している期間だけをカウントするのか。また、届け出は出すのか。</p> <p>A：9 0 日は 3 ヶ月で、日曜日も含めて 3 ヶ月欠席した場合（市議会の会議を欠席した日から、市議会の会議に出席した日の前日までの期間が対象）。病気休暇など欠席届を出す。</p> <p>Q行：加茂地域での地域おこし協力隊の活動内容を、行政側から具体的に聞いているのなら教えてほしい。</p> <p>A：加茂地域は過疎地域に指定されている。全国的に取り組まれている「地域おこし協力隊」を導入し、ここに来てずっと住みたいと思う人たちを募集し、地域おこしに取り組むこととなっている。</p> <p>Q行：地域おこし協力隊の予算は 9 2 2 万円だが、瓶原地区は、4 年前に移住促進協議会を作っているが、予算はもらっていない。どうしたら予算をもらえるのか。</p> <p>A：地域おこし協力隊は 2 人募集し、会計年度任用職員として今年 1 0 月から来年 3 月まで半年間雇う給料と住宅の借り上げ料（家賃）を含めて 9 2 2 万円。それぞれの地域から声を届けてもらいたい。</p> <p>A：背景は加茂地域が過疎地域に指定されたので、活性化していこうとなった。地元の商品を使っの商品開発や空き家を使っのカフェ運営など、地域の方々と一緒に活動する。対象は、加茂地域全体。</p> <p>Q行：ケアマネージャー配置基準の見直しは、福祉施設で働く人などの労働条件が厳しくなるのでは。賛成・反対それぞれどのような趣旨で、議員は態度表明されているのか。</p> <p>A：1 人のケアマネージャーで、担当する人数を増やすことが国の方針。なぜなら、ケアマネージャーのなり手不足で、2 ヶ月に 1 回、自宅に訪問しなくてもテレビ電話で様子を見ることができるよう条件をつけて、配置基準の見直しになった。反対討論しかなかった。</p>	

A：ケアマネジャーのなり手がいないことが深刻な問題で、市内で見つからず市外で探さないといけない。ICTを使うなど対応できることが前提で、現状に合わせて基準を緩和するべきでは、と賛成した。

Q行：福祉、介護、ケアマネジャーの事務的な業務はネットで一部できるが、根本的に給料が安いし、なり手がいないし、疲弊している。テレビ電話などを使うことが根本的な解決にならないことは明白。

A：一般質問で詳細を色々聞いている。一番の問題と思っている。木津川市が待遇改善をある程度やらないと回らないと思っている。

Q議：消防署問題。木津西出張所の存続の請願を4,535人の署名を添えて請願した。説明会の開催を要請することは採択されたので、議会として責任をもって実現するよう申し入れ、働きかけてほしい。

A：木津川市議会として、相楽中部消防組合、谷口管理者に申し出をして、開催するようお願いした。

Q議：本会議の反対討論が、消防組合議会での「新庁舎建設反対の請願を受けて」ということで、新庁舎建設反対の請願と決めつけられている。兜台で病院誘致できなかったのは一部の住民に責任があるような発言をしている。病院側は200床欲しかったが、京都府は100床しか認めなかったのも、病院側が新設を諦めた。発言の取り消しをしてほしい。

A：この請願は相楽中部消防組合に請願する内容であり、以前に相楽中部消防組合に提出されたのは、規模の見直し、建築の見直し、場所の見直し、木津西出張所の廃止の見直し、山城出張所の廃止の見直しを求める請願で、今回の討論では、すべてを説明することができず、まとめて現在の新庁舎建設に反対の請願という表現をした。言葉足らずだった。

病院誘致については、平成18年ぐらいから話があった。結論は河井前市長が答弁された内容だが、そこに至るまでに反対の方が市と話をされるなど、地元の反対も断念された理由の一つだと兜台の自治会の方から聞いていたので、そのように聞いているという討論をした。

Q行：バス通勤をしている。年末に路線バスの問題（廃止・休止）が浮上した。市のまちづくりをどのように構築していくのか、この路線バス問題をどのように解決していくか考えてほしい。

A：担当課にも、いろいろな方法を提案している。交通手段がなくなるという危機的な事だが、今年度は継続になった。今後どのようになるかが大事だと思うので、しっかり議論していきたい。

Q行：路線バス問題について、赤字になるので一般会計でやってほしい。

A：路線バスの問題は非常に大きな問題で全国的にも同じである。8割の路線バスが赤字路線。いろんな方の税金で赤字補填している。単純に今のやり方を継続するというのは限界があると思う。

A：大事にしないといけない点は、移動の自由が保障されなければならない。市は、6月末には来年の4月以降についてどうするか結論を出さないといけない。

	<p>Q行：ごみ袋が有料化され、その代金が相当たまっていると聞いている。どういうふうに使われるか。</p> <p>A：基金でかなり貯まっている。そのお金をどう使うか審議会で、現在協議されていると聞いている。結果は6月ぐらいだったらわかると思う。</p> <p> 拠点収集場所に他の地域からごみを持ち込まれないように監視カメラを設置するのにも使われている。</p> <p>A：：令和4年度末で、基金の総額は、2億6,300万円ほどある。監視カメラ設置以外に、古紙回収の補助金にも使われている。</p> <p>Q議：教育請願署名に関わっているが、加茂町議会の時は毎回採択されたが、木津川市になってから教育請願は、お金がない、財源はどうすると言われ、次々不採択で通らなくなった。議会に対して不信感を持っている。建設中の消防署には大金をつぎ込み、その反面、教育に関してはお金を使わない。</p> <p>A：教育はとっても大事。国としてもタブレットを配備したり、今まで出来ていなかったソフトウェアやハードウェアを配備するようになった。AIもいろんな形で活用するようになった。国レベルではそういうことで、市レベルでは体育館にエアコンの話があった。非常に大きな問題。教育の大切さは分かっている。</p> <p>Q行：体育館の空調設備整備は、電気式だけでなくガスヒートポンプ方式も慎重に検討してほしい。</p> <p>A：体育館については、災害時に、電気が止まっても動くLPガスが各地域で採用されていると聞いている。災害対応と環境面を考慮し、電気式、LPガス方式の両方のメリット、デメリットを明確にしていきたい。</p> <p>Q報：市民と議会のつどいには、女性の方や若い方の参加が少ない。同じ人が来ている状況。議会報告会がマンネリ化していると思う。</p> <p>A：新たに、高校生とのつどいを検討している。</p> <p>Q議・報：傍聴していて発言する議員が少ないと思ったが、自由討議の時は活発に議論されていて興味深かった。議会でも市民の請願に対して、反対なら反対の意見をもっと聞きたい。議員の思いや意見を聞きたい。</p> <p>Q：議会と市民が遠いのでは。自治会には色んな良い意見をお持ちの方がいる。自治会と議会が接点を持つては。例えば、自治会の会議の後に議会報告会を行ってみてはどうか。</p> <p>A：その辺の発想がなかった。参考にしていきたい。</p>
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	<p>○加茂のバス問題について、路線継続の要望があった。</p> <p>○ごみ袋の積立基金の有効活用の要望があった。</p> <p>○体育館の空調設備整備は、電気式だけでなくガスヒートポンプ方式も慎重に検討してほしい。</p>

そ の 他 特 記 事 項	
------------------	--

上記のとおり、報告します。

令和6年6月27日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和6年度第1回議会報告会

第3班 代表者 森本 隆